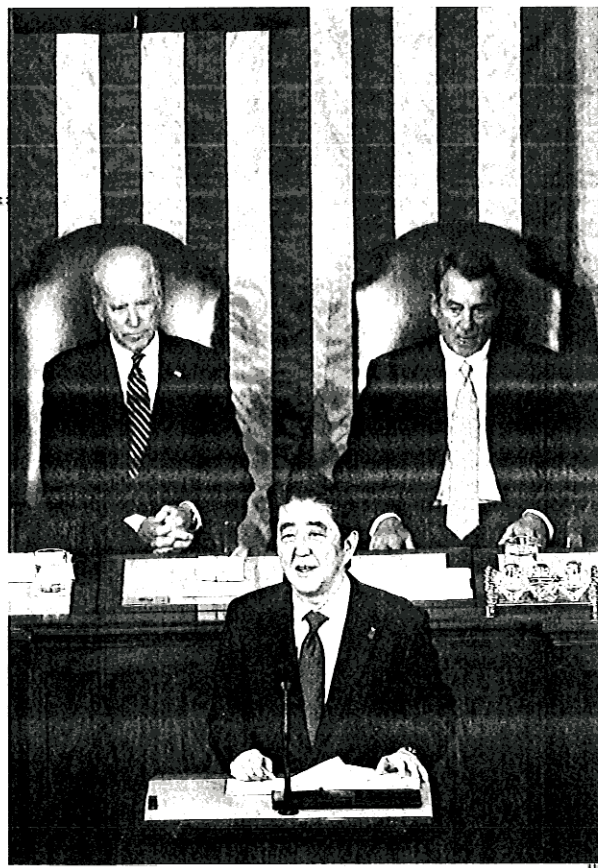


米上下両院合同会議で演説した。望の同盟へ」。戦後70年の節目から同盟関係となった日米の「心訴え、日米同盟の発展が世界の平貢献するという「未来志向」の考打ち出した。

ワシントンで開かれた米上院合同会議で演説する安倍
—29日(共



進出を図る中国を念頭に「太平洋からインド洋にかけての広い海を、自由で法の支配が貫徹する平和の海にしなければならぬ」と訴えた。同時に集団的自衛権の行使容認を含む安全保障法制について「夏までに

協定(TPP)交渉については「経済的利益を超えた長期的な安全保障上の大きな意義がある」として、交渉合意に不可欠とされる米国の大統領貿易促進権限(TPA)法案の成立と交渉妥結に協力を呼びかけた。

に歩みを刻んだ。アジア諸国民に苦しみを与えた事実から目を背けてはならない」と言及。ただ、韓国が戦後70年の安倍首相談話に求める「侵略」「植民地支配」「お詫び」の文言は使

安倍晋三首相は28日午前(日本時間同日深夜)、オバマ大統領とワシントンで会談し、自衛隊と米軍の新たな役割分担を定めた「日米防衛協力のための指針(ガイドライン)」の再改定によって「日米同盟の

される」と評価した。首相は集団的自衛権の行使容認を含む新たな安全保障法制について「精力的に作業している」と説明。オバマ氏は「支持する」と応じた。両氏は尖閣諸島(沖縄県石垣市)が米国による

未来志向 共感強める米

キーワードは岸信介

安倍晋三首相の今回の訪米の「キーワード」は、祖父、岸信介元首相だった。安倍首相は米上下両院合同会議での演説冒頭、58年前に同じく米下院で演説した岸元首相の言葉を引きこ

日、孫の安倍首相がそのパートナーシップをさらに一歩前に進める。関係を強化する新しい石を刻む」

オバマ氏は28日夜(日本時間29日午前)、安倍首相を招いたホワイトハウスでの公式夕食会でこうたたえ、首相の地元、山口県の地酒で乾杯した。2年前の2月訪米時の昼食会では、オバマ氏の手元にある飲み物はミネラルウォーターだけだった。両首脳の距離がいかに近づいたかが分かる。

米して米有識者らと意見交換した際、複数の相手がこうあきれていたという。そもそも岸氏は米議会演説で、「戦前・戦中」に一切言及していない。韓国が執拗に安倍首相の戦後70年談話に求める「侵略」「植民地支配」などの文言も当然ない。戦後わずか12年しかたっていないにもかかわらずだ。

岸氏は演説を「日本を含め新たに生まれた民主主義国家」と「戦後」から始

国と提携しているのも、民主主義の原則と理想を確信しているからであります」

一方、その安倍首相を歓迎したオバマ大統領も、首相と岸元首相を何度も重ね合わせた。

「1957年、晋三氏の祖父、岸首相は米議会で演説をした。岸氏は『日米新時代』のドアを開けた。明

オバマ氏にとって安倍首相はすでに世界戦略上、不可欠な存在となった。歴史認識をめぐる反日攻勢で共闘する韓国や中国の言い分よりも、安倍首相の「未来志向」の同盟関係を優先させたい意向とみられる。

「韓国の歴史主張は病的でうんざりだ」

首相周辺が今月上旬、訪

「歴史修正主義者」とのレッテル貼りを受けてきた。オバマ氏やその周囲も、安倍政権発足当初はそうした見方に影響され、首相に警戒心を隠さなかった。だが、そうした疑念は徐々に薄れつつある。

安倍首相は今回の訪米中もワシントンで、ナチス・ドイツによるユダヤ人大量虐殺を展示するホロコース

「今回の米議会演説では、基本的に昨年7月のオーストラリア議会での演説

(ワシントン 峯匡孝)

が最も多いのは英国、イスラエルなど8回で、アジアでは韓国が6回でトップ。一昨年には朴槿恵大統領が演説した。日本の歴代首相では岸信介氏、池田勇人氏らが米議会で演説しているが、合同会議ではなかった。産経 2013.4.30 朝刊 1面